



道民カレッジロゴマーク
愛称「マナポー」

college news

カレッジだより

2018 Mar.
vol. 33

「生涯にわたる学び」と「地域で活躍するための学び」を目指して

生きる喜び

札幌市 山田 芳二



札幌に来て、早や10年余り早いものです。思えば50年弱の間公務員、そして会社員等夢中で過ごしてきました。この間は皆様方がそうであるように精神的にも肉体的にも全力投球でした。

現役引退当時は、本音でこれですべてが終わったとの気持ちで、それはそれは開放的そのものでした。

やがて月日が経過する内に、開放感から次第に淋しさに変化していく自分を発見しました。私は現役時代から先輩諸氏より退職後は「生きる喜び」を持つこと。趣味でも何でも良い、生涯楽しく健康に過ごす事が一番であるといわれていました。現実には中々実行できないのが常です。

以前から私が考えていたのは、好きな講演会や講座、施設、名所史跡めぐりに参加することに興味がありました。

こうして初めて参加したのは、道新文化センターの気象講座で、それは夢中の半年間でした。

そんな時に「道民カレッジ」を見つけました。内容が豊富で、私が求めているのはこれだ！！と直感しました。この直感があたりました。こっから「生きる喜び」が始まりました。札幌に来てから1年余りが過ぎてのことでした。

実際に始めてみて、その内容もさることながら、自分の好きな日に好きな講座を受けること、毎回時間、会場、講師が変わること等々こんなに楽しく学べる事はありません。

何年かが過ぎると、日帰りバスによる歴史的施設や史跡、建築物を見ることができ、更に市内にも慣れ、地下鉄、バス等の利用範囲も広がり、地理的にも詳しくなり、それは楽しい健康的な日々です。この間は現役時代を思わせる過度な緊張感も味わいました。

この講座を支えているのは実は、とても交通の便に恵まれている事です。こっは公共機関、医療機関等近くにあり、更に地下鉄駅も近く、札幌の中心街は直結です。地の利を活かしての講座参加は最高です。

もう一つ私は、同じ一生を過ごすなら心も「リラックス」して苦痛を考えないこと、つまりストレスを感じないようにしています。これも道民カレッジから得た貴重な知恵でした。同世代の人たちから生き方を学びました。

しかし講座に通うことは、家族に色々な面で迷惑をかけている事です。迷惑挽回として妻の仕事を手伝うことでした。現在も続いている部屋・トイレ掃除です。実はここまで続くとは思っていませんでしたが、しかし続いています。これで良いのだと自分を褒めています。

世の中は思うようにはいきません。5年ほど前に突然「脳梗塞」に見舞われ即入院となり、集中治療室に入りました。でも運が良かったのか1週間の間に急に回復に向かったのです。当時の心境は今でも覚えています。家族の事、親戚、知人の事等が頭を過ぎり、道民カレッジもこれで終わりか？・・涙がこぼれ落ちました。

あとでわかった事ですが、手術せず点滴療法という現代医学の結果のおかげでした。それから1カ月余後に道民カレッジに復帰した事は、これ又人生の大きな喜びでした。

道民カレッジは、女性の方も一生懸命頑張っているのに心を打たれました。

私も皆さんのパワーに支えられて楽しさを倍加させ心豊かな人間を目指して努力してまいります。4千単位取得は、一つの通過点として「努力すれば成る」の信条であります。「生きる喜び」を得ながら今後も頑張っ続けて行ける事を願っています。



新年度(平成30年度)より称号取得方法が変更になります!!

平成30年4月1日から、称号取得について申請内容が変更となりますのでお知らせします。

称号取得について 変更点

	従 来	変更後
必修単位	6単位	8単位 (2単位は地域活動コース)
専門コース	60単位	60単位
選択コース	34単位	32単位
合 計	100単位	100単位

●新しい称号申請は、次のとおりです。

〔学 士〕

必修単位	大学インターネット講座 地域活動インターネット講座 地域活動実践講座 ほっかいどう学地方創生塾 指定講座						8単位 (地域活動コースから2単位)
専門コース	ほっかいどう学 コース 60単位	地域活動 コース 60単位	キャリアアップ コース 60単位	生活環境 コース 60単位	健康・スポーツ コース 60単位	教養コース 60単位	
選択コース	主催講座、連携講座の中から 32単位						

〔修 士〕 必修16単位 専門コース120単位 選択コース64単位

合計**200**単位
(学士100単位含む)

〔博 士〕 必修24単位 専門コース180単位 選択コース96単位

合計**300**単位
(修士200単位含む)

〔学長奨励賞〕 総取得単位数が1,000単位ごとに授与

*ほっかいどう学コースの指定講座は、ほっかいどう学必修1単位またはほっかいどう学コース単位のいずれかを選択することができます。

*地域活動コースは、すべて指定講座とし、地域活動必修1単位または地域活動コース単位のいずれかを選ぶことができます。

主催事業

1 地域活動実践講座 (新規)

○道民カレッジ生が行っている地域活動の交流をとおして、道民カレッジ生の地域活動への参画を促進することを目的としています。地域活動の実践の様子をレポートにまとめ、交流を行うもので9月6日に第1回目、2月21日には第2回目が行われました。いずれも、活動の課題や解決方策など活発な交流となりました。



2 地域活動インターネット講座 (新規)

○地域で活動する際に必要な知識や技能に関する内容を年間2回程度インターネットで配信します。第1回は「道民カレッジの学びを地域へ還元」の講座名で現在配信中です。

1講座につき1レポートで地域活動コース必修1単位を認定します。



3 「ほっかいどう学」 地方創生塾

(地域活動推進講座から名称変更)

○地方の様々な機関や住民と連携し、地域活動やまちづくりに貢献する人材を育成するための参画型の講座です。

29年度からの2年間は、美幌町と羅臼町で実施しています。

30年度からの2年間は、苫前町と上士幌町で実施する予定です。



4 「ほっかいどう学」 大学インターネット講座

○道内6大学の講師による「ほっかいどう学」講座をインターネットで11月より配信しています。1講座につき1レポートでほっかいどう学コース必修1単位を認定します。



連携講座の状況について

平成29年度連携講座状況 (H30・2月末現在)

◇コース、管内別講座・登録市町村数

※団体数は延数とする

コース名	支庁名	札幌	空知	石狩 (除札幌)	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	計	左欄うち青少年教育施設										
																		砂川	深川	森	北見	足寄	厚岸	大雪	日高	小計		
	市町村数	1	24	7	20	11	7	11	7	23	8	10	18	19	8	5	179											
ほっかいどう学	講座数	143	22	50	5	8	2	45	1	12	22	9	15	42	27	1	404	1	0	2	0	0	0	0	0	0	3	
	団体数	75	8	17	5	7	2	20	1	12	12	6	9	18	11	1	204											
地域活動	講座数	65	58	6	5	9	33	54	13	30	3	7	39	88	105	11	526	25	28	34	34	52	32	8	7	220		
	団体数	40	20	6	5	5	16	17	13	20	3	4	12	25	28	5	219											
キャリアアップ	講座数	262	6	37	12	7	10	42	1	24	2	15	9	37	11	3	478	3	1	2	2	2	2	7	0	19		
	団体数	49	4	11	11	3	7	14	1	16	2	10	9	17	6	3	163											
環境・生活	講座数	268	28	44	19	30	31	39	5	46	5	4	28	71	48	4	670	12	6	11	11	3	11	7	4	65		
	団体数	85	13	18	15	14	12	12	4	31	4	3	14	39	11	3	278											
健康・スポーツ	講座数	354	22	33	9	18	12	120	7	52	5	7	6	42	17	1	705	1	0	2	0	7	1	7	1	19		
	団体数	74	7	14	8	10	4	15	4	33	3	5	5	27	7	1	217											
教 養	講座数	963	63	70	19	35	66	45	12	98	5	18	58	116	42	2	1,612	3	2	0	3	0	1	1	1	11		
	団体数	108	27	24	16	9	16	13	7	45	4	7	25	54	15	2	372											
ジュニア	講座数	171	91	70	58	70	102	139	31	93	32	43	103	155	169	10	1,337	30	30	34	36	51	32	16	9	238		
	団体数	68	27	25	33	26	28	37	26	49	18	20	30	72	42	7	508											
計	講座数	2,226	290	310	127	177	256	484	70	355	74	103	258	551	419	32	5,732	75	67	85	86	115	79	46	22	575		
	団体数	499	106	115	93	74	85	128	56	206	46	55	104	252	120	22	1,961											

【生涯学習の講座を主催されている団体様へ】

上記のように多くの講座が道民カレッジの連携講座として開講されています。道民カレッジの学生数は現在31,000人に達し、道内各地で生涯学習に取り組んでいます。

道民カレッジの連携講座として申請することにより、受講生の獲得につながる可能性があります。是非、連携講座としてお申し込み下さい。お待ちしております。

《連携講座申請の手続き》

◎「道民カレッジ連携講座開設申込書」(道民カレッジホームページ上に様式があります)に必要な事項を記入のうえ、Eメール・FAXまたは郵送により、道民カレッジ事務局へお申し込みください。なお、講座の開催要項等がある場合は、添付してください。

◎また、すでにユーザーID・パスワードを発行されている機関・団体等は、インターネットによる講座情報入力によりお申し込みください。

◎コース分類は、上記を参照ください。コースにご希望がございましたら、ご指示ください。

◎お申し込み後、審査の上通知いたします。

連携講座の紹介

【地域活動コース】

MBA コンサルティング協会 半歩先を行く「札幌価値の発信」

テーマ選びは、経営に限らず、生活に密着した情報公開・生活の向上・課題解決のキッカケ作りを選ぶように心掛けています。

講師は、経営管理修士のMBA (Master of Business Administration) の他、企業経営者・学識経験者等に担当載っています。

道民カレッジ連携講座は3年目です。平成29年度は、6回の講座を開催。10月には「北前船と近代銀行業」のテーマで講師に小樽商科大学院商学研究科の齊藤一朗氏をお願いし、歴史的な興味深いお話しに耳を傾けました。



【ジュニアコース】

NPO法人霧多布湿原ナショナルトラスト 「きりたっぷ子ども自然クラブ」

「きりたっぷ子ども自然クラブ」では、霧多布湿原を有する浜中町の自然や文化を体験する活動を、月に1～2回のペースで実施しています。地域の方々に先生やガイドになってもらう活動を多く取り入れており、2017年4月～12月は乗馬やカヌー、無人島探検、廃校を利用したキャンプ、郷土料理やフラワーアレンジメント教室など計13回の活動を行いました。2018年も様々なジャンルのプログラムを計画中です。お楽しみに！



平成30年度「ほっかいどう学」かでの講座日程

期 日	講 師 名	講 演 テ ー マ
4月23日 (月)	小檜山 博氏 作家	「ひとりでは生きられない」
5月21日 (月)	木原 直彦氏 (公財)北海道文学館名誉館長	「文学で旅する北海道～北の大地生まれの名作を語る～」
6月20日 (水)	合田 一道氏他 ノンフィクション作家	「北海道命名150年～松浦武四郎北の大地に立つ～」
7月17日 (火)	小嶋 英生氏 雪との共生をすすめる会代表	「冰雪プロジェクト～100年後の地球のために～」
8月8日 (水)	大野 洋子氏 能・歌舞伎サロン主宰	「歌舞伎を楽しむ ～歌舞伎と北海道～」
9月13日 (木)	西川 一仁氏 日本理化学工業株式会社 美唄工場長	「働く幸せ ～人の役に立ってこそ幸せになれる～」
9月27日 (木)	五十嵐 聡美氏 北海道立美術館 学芸部普及情報課長	「絵で見る北海道史 ～アイヌ絵を中心に～」
10月23日 (火)	大島 さゆり氏 フルート奏者	「フルートの調べに乗せて」
11月16日 (金)	島本 和朗氏 日本医療大学 総長	「どさんこと高血圧」

期 日	講 師 名	講 演 テ ー マ
12月12日 (水)	越田 賢一郎 氏 札幌国際大学縄文遺産 研究室長	「北海道・北東北の縄文遺跡群 ～世界遺産登録をめざして～」

*平成30年4月2日(月)より受付します。 *単位:必修(ほっかいどう学)1単位または専門(ほっかいどう学)2単位
*会場:かでの2・7 4階大会議室 *時間:13:30~15:30 *受講料:500円(賛助会員は1講座につき100円引き)

最近の

道民カレッジ事務局



① 賛助会員のつどい

(公財)北海道生涯学習協会では、平成29年11月29日(水)に北海道立近代美術館を会場に日頃のご支援に感謝を込めて賛助会員を対象とした「賛助会員のつどい」を開催しました。当日は36名の参加があり、特別展「追悼 高倉 健」の観覧・恒例のお楽しみ会など行い、会員相互の研修と親睦を深めることが出来ました。



② 平成29年度生涯学習実践者表彰

受賞者

- ・佐藤 一雄 氏 (江別市)
- ・田上 唯勝 氏 (旭川市)
- ・宮本 高市 氏 (帯広市)
- ・中野 和子 氏 (函館市)



③ 「かでの講座」アンケート結果(後期分)

平成29年12月5日(火)第10回かでの講座において、今年度後期講座アンケートにお答えいただきました。その結果の集計をお知らせします。(回答者 70名)

①参加者性別

男 60% 女 40%

②参加者年代

50代 2% 60代 42%

70代 39% 80代 17%

③カレッジ生 90% カレッジ生以外 10%

④講座を知った媒介

ガイドブック 49% チラシ 24% 友人・知人 10%

新聞広告 3% その他 5%

⑤講座について

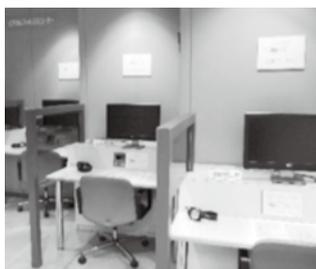
大変良かった 32% 良かった 66% やや不満 2%



附属視聴覚センターをご活用ください

附属視聴覚センターでは、学校での授業や各種研修会・講座などで活用可能な視聴覚教材を無料で貸し出ししています。また、視聴コーナー及び試写室も併せてご利用ください。

詳しくは、北海道立生涯学習推進センター附属視聴覚センターのホームページをご覧ください。か下記へお問い合わせください。



ビデオレファレンスコーナー



視聴覚室

◆問い合わせ先◆

かでの2・7 9階 附属視聴覚センター

TEL 011-231-4111 (内線36-332)

職場研修イチオシ教材

- 接客・接遇に活かすユニバーサルサービス
 - ・ユニバーサルサービスの基礎知識
 - ・ケーススタディー1
 - ・ケーススタディー2
- 教職員のためのメンタルヘルス
 - ・上手なヘルスケアのヒント
 - ・同僚のSOSには相互ケア
 - ・働きやすい職場を作るラインケア
- 若手社員のためのビジネス
 - ・コミュニケーションの基本
 - ・コミュニケーションセンスを磨く
 - ・コミュニケーション・スキルを伸ばす
- CS実現のためのお客様応対
 - ・顧客満足は現場の第一線で実現するためには

新規 道民カレッジ称号取得者一覧

(平成29年9月1日～平成30年2月28日)

(敬称略 本人から承諾を得ている方を掲載しています。)

● 学長奨励賞 (11000単位取得) ●

榎本 聡子 (札幌市)

● 学長奨励賞 (3000単位取得) ●

阿部 英子 (札幌市)

平川 省三 (滝川市)

● 学長奨励賞 (2000単位取得) ●

林 君雄 (札幌市)

伊藤 正憲 (旭川市)

山内ヒメ子 (札幌市)
林 葵 (帯広市)

● 学長奨励賞 (1000単位取得) ●

井澤 郁子 (札幌市)

伊藤 正憲 (旭川市)

松下 芳子 (江別市)

太田 順治 (札幌市)
前川原利雄 (旭川市)

● 博 士 (300単位取得) ●

山西 忠良 (札幌市・ほ)

坂本 春恵 (音更町・ほ)

伊東 恒子 (札幌市・ほ)

門間 勝衛 (江別市・教)

及川 直樹 (音更町・教)

大崎喜代志 (遠軽町・健)

武佐 博 (江別市・環)

安藤 明美 (札幌市・キ)

新戸部泰久 (江別市・ほ)

友安 春雄 (帯広市・ほ)

山口幸治郎 (札幌市・健)

平川 省三 (滝川市・キ)

北口 清美 (札幌市・ほ)

宮内 敏文 (札幌市・ほ)

日根 美穂 (江別市・ほ)
松下 芳子 (江別市・教)
羽山 勝繁 (札幌市・ほ)
山内ヒメ子 (札幌市・キ)
石原富士雄 (函館市・教)
山口幸治郎 (札幌市・環)
笹 幾子 (札幌市・健)
田淵 静秀 (札幌市・教)

● 修 士 (200単位取得) ●

鈴木千枝子 (札幌市・教)

松下 芳子 (江別市・ほ)

太田 順治 (札幌市・健)

太田 節子 (札幌市・環)

羽山 勝繁 (札幌市・教)

井澤 郁子 (札幌市・ほ)

吉田 良子 (札幌市・環)

島田 真土 (札幌市・ほ)

森田 敏光 (札幌市・ほ)

佐藤 寛 (恵庭市・環)

伊藤 正一 (札幌市・健)

伊藤 正一 (札幌市・環)

藤田 仁助 (帯広市・教)

武佐 博 (江別市・環)

鈴木 勝義 (芽室町・環)

沢田 俊雄 (札幌市・健)

友安 春雄 (帯広市・ほ)

鈴木 正子 (札幌市・ほ)

山口幸治郎 (札幌市・環)

山口幸治郎 (札幌市・健)

平川 省三 (滝川市・キ)

北口 清美 (札幌市・ほ)

日根 美穂 (江別市・ほ)
松下 芳子 (江別市・環)
太田 節子 (札幌市・健)
渡辺 常雄 (札幌市・環)
沼田 巖 (恵庭市・環)
松村 繁男 (札幌市・健)
山内ヒメ子 (札幌市・キ)
武佐 博 (江別市・健)
新戸部泰久 (江別市・ほ)
鎌田 一彦 (札幌市・ほ)
加藤 憲一 (札幌市・ほ)
北口 清美 (札幌市・健)

● 学 士 (100単位取得) ●

清水 忠 (札幌市・健)

山西 忠良 (札幌市・環)

門間 勝衛 (江別市・ほ)

兼古 晃一 (札幌市・ほ)

井澤 郁子 (札幌市・ほ)

吉田 安正 (江別市・ほ)

松尾 誠之 (札幌市・ほ)

吉田 良子 (札幌市・環)

沼田 巖 (恵庭市・環)

早坂 優子 (札幌市・ほ)

林 芳男 (札幌市・健)

矢澤 貴一 (札幌市・ほ)

岡本 武雄 (由仁町・教)

松田 章子 (札幌市・教)

武佐 博 (江別市・環)

武佐 博 (江別市・健)

中野 和子 (函館市・教)

石坂 栄 (札幌市・教)

石岡由利子 (鹿部町・教)

友安 春雄 (帯広市・ほ)

友安 春雄 (帯広市・教)

鈴木 正子 (札幌市・ほ)

田中 昭 (札幌市・ほ)

山口幸治郎 (札幌市・環)

大平 信貴 (札幌市・教)

北口 清美 (札幌市・キ)

田淵 静秀 (札幌市・健)

日根 美穂 (江別市・ほ)
山西 忠良 (札幌市・健)
井澤 郁子 (札幌市・ほ)
大庭 雄一 (札幌市・ほ)
佐藤 房子 (苫小牧市・教)
山口 正 (遠軽町・教)
伊藤 正一 (札幌市・健)
福田 範昭 (帯広市・環)
小嶋 舞子 (北斗市・教)
中川 良助 (苫小牧市・健)
友安 春雄 (帯広市・キ)
笈川 浩一 (札幌市・教)
山口幸治郎 (札幌市・健)
吉田 良子 (札幌市・健)

※称号取得の方法や手続きに関するお問合せは、下記の道民カレッジ事務局まで、お気軽にご連絡ください。

なお、道民カレッジのホームページでは、称号取得のモデルプランを見ることができます。

(注) ほ：ほっかいどう学 キ：キャリアアップ 環：環境・生活 健：健康・スポーツ 教：教養

称号取得者等

(延べ人数)

学士	修士	博士	学長奨励賞										
			1000単位	2000単位	3000単位	4000単位	5000単位	6000単位	7000単位	8000単位	9000単位	10000単位	11000単位
921	658	532	106	53	18	7	4	2	1	1	1	1	1

カレッジだより Vol.33

平成30年3月発行

編集・発行 道民カレッジ事務局[(公財)北海道生涯学習協会]

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7ビル9階

TEL (011) 204-5780 FAX (011) 281-6664

URL <https://manabi.pref.hokkaido.jp.college/>

Eメール college@manabi.pref.hokkaido.jp

twitter <https://twitter.com/doumincollege>

●道民カレッジ事務局から

1. 道民カレッジ生で住所変更等があった時は、ご面倒でも事務局までお知らせください。

2. カレッジだよりでは、道民カレッジ生のみなさんからの便りを募集しています。「私が実践している生涯学習」や「道民カレッジでこんな体験をした!」など、どのような内容でも結構です。お気軽に事務局までお送りください。(お送りいただいた原稿は返却いたしません。ご了承ください。)

紙面でご紹介させていただく場合がございます。